

Agilent 分光光度計の冷却対策を万全に



Agilent Cool Clear 冷却液によって分光光度計を保護する利点

分光光度計の冷却には、どんな種類の水でも使えると考えているユーザーもいます。しかし、市販の冷却液、水道水、脱イオン水には、最適な性能を引き出すために必要な腐食防止剤などの化学物質が含まれていません。こうした化学物質が適切なレベルで含まれていないと、腐食が発生し、冷却水回路に堆積物が蓄積するおそれがあります。これによって生じる冷却効率の低下や詰まりが、計画外のダウンタイムにつながります。

アジレントが非純正の冷却液を調べたところ、水中の Cu や Zn などの腐食生成物を発見しました。Agilent Cool Clear 冷却液は、分光光度計の冷却回路を最適に保護するために開発されました。腐食防止剤が含まれているため、冷却回路の腐食を防ぎ、腐食に伴うメンテナンスコストを削減できます。Agilent Cool Clear は、腐食保護性能のない非純正の冷却液や脱イオン水の性能を上回っていることが、当社の長期間のテストで明らかになっています。

図 1. 冷却水マニホールドの一連の画像。さまざまな種類の水を使用して数か月稼働させた後の冷却回路に、腐食堆積物が蓄積した様子を示しています。



脱イオン水で 4 か月使用した後の状態。暗くなった部分から、内面の腐食が簡単にわかります。非純正冷却液を使用した場合と比較して、劣化がはるかに悪い状態であることが観察されました。

腐食防止剤を含まない非純正冷却液で 2 か月間使用した後の状態。暗くなった部分から、内面の腐食が簡単にわかります。

腐食防止剤を含む純正の Agilent Cool Clear 冷却液で 3.5 か月使用した後の状態。内面に汚れがなく、優れた腐食保護性能を確認できます。

機器性能のリスクを回避

冷却器や熱交換器には純正の Agilent Cool Clear 冷却液を

Agilent Cool Clear 冷却液は、アジレントの化学者によって特別に配合されており、非常に優れた腐食防止剤が適切な濃度で含まれています。Cool Clear 冷却液は、ボトルから直接使用できる状態で販売されています。容量（2 米ガロン、約 7.6 L）は、アジレントの冷却器や分光光度計の冷却回路内の液体を交換するのに最適な量となっており、必要量を補充してわずかに余る程度です。

冷却液は 1 年に 1 回交換することをお勧めします。この交換は、機器の点検サービスの一環として、アジレントのサービスエンジニアにお任せいただくこともできます。

冷却液をご自分で交換する場合は、Agilent 機器ソフトウェアのアーリーメンテナンスフィードバック機能（EMF）で年 1 回のリマインダーを必ず設定してください。これで冷却回路について心配する必要がなくなります。



Agilent Cool Clear 5799-0037

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE37395585

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2022

Printed in Japan, January 31, 2022

5994-4576JAJP